

## 一般口演 透析液清浄化 1

O-0568～O-0573

2017 年 6 月 17 日（土） 15:30-16:30  
第 16 会場 | 会議センター 4F 419

座長：榎村 友隆（東亜大学）

座長：山下 文子（若葉内科クリニック）

## O-0572

透析用患者監視装置排液側に付着する物質に対するエーエヌテック社製人工透析機器用強力タンパク・油脂溶解洗浄剤プレミアムマックスの使用経験

林 博英<sup>1</sup>、沖中 徳子<sup>1</sup>、豊岡 大征<sup>1</sup>、梅津 未来<sup>1</sup>、志賀 智史<sup>1</sup>、平川 絵李香<sup>1</sup>、和中 慎治<sup>1</sup>、石井 利英<sup>1</sup><sup>1</sup>:神戸市立医療センター西市民病院臨床工学室

【はじめに】患者監視装置廃液側配管内に付着する物質は、タンパク・脂質・糖からなる混合物であるとの報告がある。当院においても発生し、抑制および除去に苦慮した。今回、洗浄消毒剤を変更し付着物を除去することができたので報告する。

【方法】洗浄消毒剤を次亜塩素酸 Na 単独から、次亜塩素酸 Na にプレミアムマックス（以下 PM）を混合した洗浄消毒剤へ変更し、変更前後において付着物の状態を目視観察した。

【結果】変更後数日で効果が現れ、付着物を除去・軽減することができた。

【考察】患者監視装置廃液側配管内に付着する物質に対し PM は有効であった。しかし、次亜塩素酸 Na 単独に比べコストアップする。今後は付着物の再発生を抑制する適切な濃度を見極め、コスト削減に注力したい。また、長期使用による監視装置への影響を検証する必要がある。

▲ TOP

